

# ●調査レポート

## 第 87 回 埼玉県内企業経営動向調査－2014 年 4～6 月期－

調査対象：県内企業 573 社                      調査方法：アンケート方式（5月上旬 郵送回収）  
 回答企業：271 社（回答率 47.3%）          業種別内訳：製造業 158 社      非製造業 113 社  
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2014年2月14日	102.25	14,313.03
(今回)2014年5月16日	101.55	14,096.59

### 概況

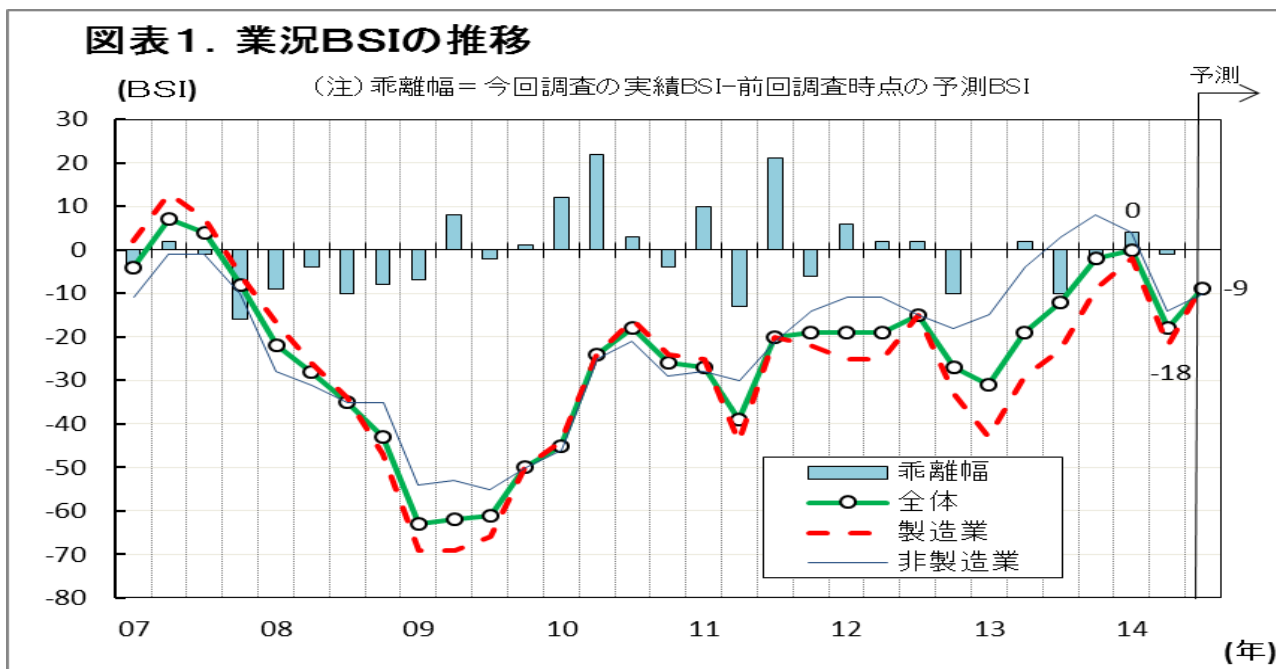
埼玉県内企業の業況感は、足元大きく後退している。今回(2014年4～6月期)の業況判断 BSI は -18 と、前回(1～3月期)と比べ 18 ポイント低下、2013年1～3月期以来 5 四半期ぶりに低下している。しかしながら、今回の後退は前回調査における予測の想定内であり、1997年の消費増税時(1997年4～6月期：-20)と比較しても業況感は悪くない。

今回集計結果を規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)ともに後退し、マイナスとなっている。

業種別にみると、製造業では、スマートフォン関連需要で加工組立型の電子部品・デバイスが持ち直しているが、素材型の紙加工品等、金属製品、加工組立型の電気・情報通信機械器具、輸送用機械、生活関連型の飲・食料品など多くの業種が消費増税後の反動減の影響もあって減産していることから、後退している。非製造業は、消費増税後の反動減から、卸売、小売などが後退している。

先行き(2014年7～9月期)の業況判断 BSI は -9 と 9 ポイント上昇、持ち直すものの、原材料・仕入価格の上昇、人手不足の問題により業況が下押しされるため、水面下にとどまる。業種別にみると、製造業は、内需の底堅さを背景に、素材型の鉄鋼・非鉄金属、加工組立型の電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイス、生活関連型の飲・食料品などが持ち直す見通しとなっている。非製造業は、消費増税後の反動減の影響が薄れ、住宅建設、小売などが持ち直す見通しとなっている。

図表 1. 業況 BSI の推移



## 1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～足元大きく後退も、ほぼ想定内～

県内企業の業況感は、足元大きく後退している。今回調査の業況判断 BSI は、0 → -18 (前回→今回、以下同じ。)と 18 ㊦低下、2013 年 1～3 月期以来 5 四半期ぶりに低下している。しかしながら、今回の後退は前回調査における予測の想定内であり、1997 年の消費増税時(1997 年 4～6 月期: -20)と比較しても業況感は悪くない。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)ともに後退し、マイナスとなっている。

業種別にみると、製造業では、スマートフォン関連需要で加工組立型の電子部品・デバイスが持ち直しているが、消費増税後の反動減の影響もあって減産していることから、素材型の紙加工品等、金属製品、加工組立型の電気・情報通信機械器具、輸送用機械、生活関連型の飲・食料品など多くの業種が後退している。非製造業は、消費増税後の反動減の動きがみられ、卸売、小売などが後退している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2012年	2013年				2014年			2014年 7～9月 (先行き)
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	前回予想	
<b>全体</b>	-27	-31	-19	-12	-2	0	-18	-17	-9
100人未満	-30	-31	-26	-16	-10	-3	-18	-19	-9
100人以上	-23	-32	-11	-8	6	4	-19	-16	-9
<b>製造業</b>	-33	-43	-29	-23	-9	-2	-22	-18	-8
100人未満	-33	-36	-32	-24	-18	-9	-25	-24	-7
100人以上	-32	-52	-26	-21	1	6	-18	-11	-10
<b>素材型</b>	-31	-32	-26	-21	-6	0	-21	-26	-2
紙加工品等	-31	-25	-8	-23	-17	25	-10	-42	10
化学・石油製品・ プラスチック・ゴム製品	-42	-54	-38	-23	0	-42	-50	-17	0
鉄鋼・非鉄金属	-50	-36	-38	-40	-8	-29	-8	0	17
金属製品	-17	-25	-29	-17	7	23	0	-31	8
その他素材型	-11	-18	-18	-11	-18	20	-31	-40	-31
<b>加工組立型</b>	-35	-54	-32	-19	0	-3	-16	-7	-9
一般機械器具	-30	-50	-24	-10	13	17	13	11	0
電気・情報通信機械器具	-33	-50	-25	-42	-31	-7	-33	0	-8
電子部品・デバイス	-25	-75	-54	-9	-23	-57	-25	-14	0
輸送用機械	-38	-62	-42	-31	21	0	-31	-23	-23
精密機械	-55	-33	-23	-7	17	31	-9	-15	-18
<b>生活関連型</b>	-25	-44	-26	-36	-36	-4	-42	-30	-17
飲・食料品	-8	-54	-45	-31	-17	25	-33	-17	-17
印刷・同関連業	-42	-33	-8	-42	-54	-36	-50	-45	-17
<b>その他製造業</b>	-50	-33	-33	-33	-40	0	-17	-17	-33
<b>非製造業</b>	-18	-15	-4	3	8	4	-14	-16	-10
100人未満	-27	-24	-18	-4	4	5	-6	-11	-12
100人以上	-9	-7	8	8	13	2	-20	-22	-8
一般建設	-26	-21	-16	-10	22	21	16	11	6
住宅建設	7	-17	33	13	0	-31	-27	-8	0
卸売	-18	-16	-15	11	20	0	-21	-31	-29
小売	-39	-12	-25	-19	-17	21	-38	-43	-29
運輸・倉庫	-8	-21	8	-8	21	-8	-27	-8	-27
不動産	-25	-45	-15	23	13	0	-8	-17	0
その他非製造業	-6	11	18	15	0	0	13	-6	13

## 2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～足元減少、先行き増加～

製造業では、販売（受注）数量の減少から、素材型は鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型は電気・情報通信機械器具、輸送用機械などがマイナスとなっている。非製造業は卸売、小売を中心にマイナスとなっている。先行きは、製造業は素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型の電気・情報通信機械器具、輸送用機械などがそれぞれプラスとなる。非製造業では、消費増税後の反動減の影響が薄れ、卸売、小売などがプラスに転じる見通しとなっている。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 13年10～12月期	(前回調査) 14年1～3月期	(今回調査) 14年4～6月期	(先行き) 14年7～9月期
全体	18	11	-20	14
製造業	18	4	-18	13
非製造業	19	22	-22	14
規模の小さい企業	10	6	-21	13
規模の大きい企業	27	16	-18	14

## 3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～足元減少、先行き増加～

製造業では、素材型は金属製品など、加工組立型は電気・情報通信機械器具、輸送用機械などがマイナスとなっている。非製造業では卸売、小売などでマイナスとなっている。先行きは、製造業では、素材型は金属製品など、加工組立型は電気・情報通信機械器具などで、非製造業では、卸売、小売などがプラスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 13年10～12月期	(前回調査) 14年1～3月期	(今回調査) 14年4～6月期	(先行き) 14年7～9月期
全体	6	-1	-24	10
製造業	7	-5	-22	7
非製造業	4	4	-27	13
規模の小さい企業	-3	-7	-28	7
規模の大きい企業	15	4	-20	12

## 4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～加工組立型でプラス～

製造業は、加工組立型が一般機械、電子部品・デバイスを中心にプラスとなっている。先行きは加工組立型で後退する見通しとなっている。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 13年10～12月期	(前回調査) 14年1～3月期	(今回調査) 14年4～6月期	(先行き) 14年7～9月期
全体	8	13	9	7
製造業	11	17	10	7
非製造業	2	4	5	7
規模の小さい企業	7	10	7	8
規模の大きい企業	9	16	10	6

### 5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足～

製造業では素材型で過剰感が増している。非製造業では、住宅建設、卸売、小売などで不足感がみられる。

図表 6 生産（販売）設備 BSI

	(前々回調査) 13年10～12月期	(前回調査) 14年1～3月期	(今回調査) 14年4～6月期	(先行き) 14年7～9月期
全体	-3	-3	0	-2
製造業	-1	-1	6	1
非製造業	-4	-6	-7	-7
規模の小さい企業	-5	-7	4	-1
規模の大きい企業	0	1	-3	-3

### 6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強い～

製造業では生活関連型で不足感がみられる。非製造業では一般建設で7割の企業が不足とするほか、小売や運輸・倉庫など多くの業種で不足となっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 13年10～12月期	(前回調査) 14年1～3月期	(今回調査) 14年4～6月期	(先行き) 14年7～9月期
全体	-16	-20	-12	-16
製造業	-1	-6	1	-6
非製造業	-36	-39	-30	-29
規模の小さい企業	-11	-24	-6	-10
規模の大きい企業	-21	-16	-18	-23

### 7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～「苦しい」超に転じる～

製造業は加工組立型で、非製造業は運輸・倉庫などで厳しさがみられる。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 13年10～12月期	(前回調査) 14年1～3月期	(今回調査) 14年4～6月期	(先行き) 14年7～9月期
全体	4	4	-1	1
製造業	0	3	-1	2
非製造業	9	6	-2	-1
規模の小さい企業	-6	-3	-6	-4
規模の大きい企業	15	11	4	6

(以上)